

4～5世紀ごろの日本

目標：なぜ時代のようにすがわかるのか，3つの手がかりから説明しよう

4世紀から5世紀ごろの日本の歴史については次のようなことがわかっています。

近畿地方（特に奈良や大阪あたり）を中心として，強大な力をもった王を頂点とした組織がつくられ，代々受け継がれていった。

この時代はまだほとんど文字が使われていなかったため，記録は残っていません。もちろん当時の写真や動画もありません。それにも関わらずどうしてこのようなことがわかるのでしょうか？今日の授業では，みなさんに「歴史学者」になってもらいます。今から配られる3つの手がかりをもとにして，どうしてこのようなことがいえるのかを説明してください。

4世紀から5世紀ごろ，近畿地方（特に奈良や大阪）あたりを中心として，強大な力をもった王を頂点とした組織がつくられ，代々受け継がれていきました。

なぜこのようなことがいえるかという・・・

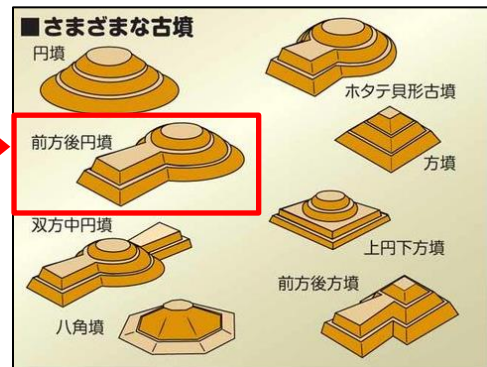
今日の学習に入る前の答え

今日の学習に入る前の自分の答えを貼りましょう

今日の学習からわかった答え

今日の目標 4～5世紀に日本に強い王を中心とする組織が生まれていたことを証明しよう

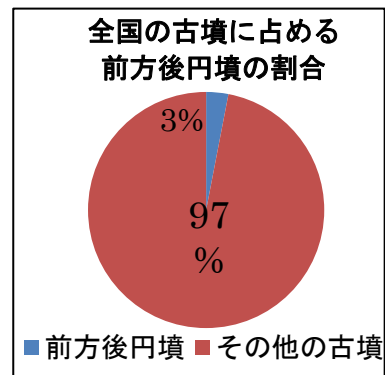
今回テーマとなっている4世紀から5世紀ごろの時代は古墳（昔の墓）がたくさん作られた時代です。（古墳時代の中ごろです）みなさんは「古墳」といえば、きっとカギ穴のような形をイメージするのではないのでしょうか。→
 このような形の古墳を「^{ぜんぽうこうえんふん}前方後円墳」といいます。いろいろな形がある中で、なぜ「古墳＝前方後円墳」というイメージが強いのでしょうか。この資料では、「前方後円墳」の数や大きさに注目してみましょう。



毎日新聞HP

前方後円墳の数について

日本には現在発掘されているだけで約16万基の古墳があります。しかし、よく知られている「前方後円墳」は、そのうちの約5000基（3%）しかありません。円グラフにすると右のようになります。残りの97%は右上の絵にあるような円墳や方墳など、いろいろな形ということになります。



前方後円墳の大きさについて

下の表を見てください。これは、日本の古墳を大きさの順でランキングにした表です。

順位	古墳名	全長 (m)	形
1	大仙古墳	486	前方後円墳
2	誉田山 (コウヤマ) 古墳	425	前方後円墳
3	石津丘古墳	365	前方後円墳
4	造山古墳	350	前方後円墳
5	河内大塚山古墳	335	前方後円墳
6	見瀬丸山古墳	318	前方後円墳
7	渋谷向山 (シブタニコウヤマ) 古墳	302	前方後円墳
8	土師ニサンザイ古墳	288	前方後円墳
9	仲ツ山古墳	286	前方後円墳
	作山古墳	286	前方後円墳

順位	古墳名	全長 (m)	形
11	箸墓 (ハカ) 古墳	276	前方後円墳
	五社神 (ゴサ) 古墳	276	前方後円墳
13	ウワナベ古墳	265	前方後円墳
14	市庭古墳	250	前方後円墳
	メスリ山古墳	250	前方後円墳
16	岡ミサンザイ古墳	242	前方後円墳
	行燈山 (アトノヤマ) 古墳	242	前方後円墳
18	室大墓 (ムロノオホハカ) 古墳	238	前方後円墳
19	西殿塚古墳	234	前方後円墳
20	市野山古墳	230	前方後円墳

この表を見ると、大きさベスト20はすべて前方後円墳ですね。円墳や方墳などは入っていません。

円グラフと表から、「古墳といえば前方後円墳」というイメージがある理由は、

- ①数が少ない＝とてもレアな存在である ②巨大＝目立つものが多い

からだということがいえます。

そこで、下の問いについて考えてみましょう。

3人で考えよう 数少ない巨大古墳のほとんどが「前方後円墳」という同じ形をしているのはなぜでしょう？単なる偶然なのでしょうか…

今日の目標 4～5世紀に日本に強い王を中心とする組織が生まれていたことを証明しよう

古墳（昔の墓）が作られるようになり、全国各地に広がっていった3世紀中ごろ～7世紀はじめごろを古墳時代といいます。（今回の学習課題となっている4～5世紀は、古墳時代の真ん中あたりということになります。）各地で発掘作業をした結果、古墳の内部には石室（遺体が置かれている部屋）があり、そこに棺（遺体を入れる箱）があることがわかりました。また、遺体と一緒にいろいろなものが埋められていたようです。これを「副葬品」といいます。石室のようすや副葬品からどのようなことがわかるのでしょうか。

副葬品などについて

4～5世紀ごろの古墳の場合、そこに葬られるのはたった1人です。石室や石棺はていねいに作られています。副葬品に目を向けると、うらないやおまじないに使う銅の鏡や首飾りなど（写真③）が見つかる古墳があります。また、当時とても貴重だった鉄でつくられた鎧や兜（写真④）などの武具が見つかる古墳もあります。これらの副葬品から、葬られていたのがどのような人物だったのかを想像することもできそうです。



① 虎塚古墳（茨城県）の石室



② 造山古墳（岡山県）の石棺



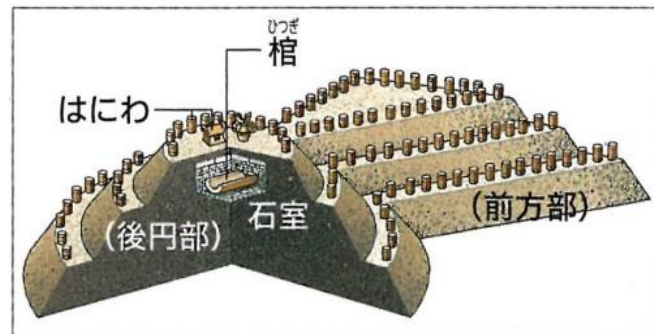
⑤ いろいろな「はにわ」



③ 長塚古墳（岐阜県）の副葬品



④ 野中古墳（大阪府）の副葬品（復元）



⑥ 並べられた「はにわ」と前方後円墳内部のようす

①ひたちなか市HP ②岡山市HP ③可見市HP ④百舌鳥・古市古墳群HP ⑤左：太田市HP・右：長岡京市埋蔵文化財センターHP ⑥中学社会歴史（教育出版）

「はにわ」について

みなさんは右上の写真⑤のような「はにわ」を見たことがあるでしょう。人や動物の形をしたものが前方後円墳から行列になって出土したり、前方後円墳の周りに筒状の「はにわ」がきれいに並べられているものもあります。「はにわ」が作られた理由には、「生活や儀式の様子を表すため」とか、「前方後円墳が崩れないようにする土止めのため」などの説があるのですが、いずれにしても、ひとつの前方後円墳からたくさんの数の「はにわ」が出土するという事は、ひとりの人間を葬る墓にそれだけの手間をかけていたということがいえます。

3人で考えよう 前方後円墳に埋葬されていたのは、どのような人物だったのか想像してみよう。

前方後円墳に埋葬されていた人物は、

今日の目標 4～5世紀に日本に強い王を中心とする組織が生まれていたことを証明しよう

「古墳」とは、古いお墓のことです。3世紀中ごろから7世紀はじめごろに古墳がさかんに作られたこの時代を「古墳時代」といいます。（今回の学習課題となっている4～5世紀は、古墳時代の中ごろということになります。）
 それでは、いったい日本中に古墳はいくつぐらいあるか知っていますか？すでに発掘されているもので約16万基あるといわれています。（もちろん、広島県でもいくつもの古墳が見つかっています。）そこで、次の表を見てください。

府県別の120m以上の巨大古墳の数

地方	府県	300m以上	200～300m	120～200m	合計
東北	宮城県	0	0	1	1
東北	福島県	0	0	1	1
関東	茨城県	0	0	3	3
関東	栃木県	0	0	1	1
関東	群馬県	0	1	9	10
関東	埼玉県	0	0	3	3
関東	千葉県	0	0	4	4
中部	山梨県	0	0	2	2
中部	愛知県	0	0	1	1
中部	岐阜県	0	0	1	1
中部	三重県	0	0	3	3
近畿	滋賀県	0	0	2	2
近畿	京都府	0	1	6	7
近畿	大阪府	4	8	16	28
近畿	奈良県	2	18	15	35
近畿	兵庫県	0	0	4	4
中国	岡山県	1	1	11	13
中国	山口県	0	0	1	1
四国	香川県	0	0	1	1
九州	福岡県	0	0	2	2
九州	宮崎県	0	1	1	2
合計		7基	30基	88基	125基

この表は、巨大古墳の数を地方・府県別にまとめたものです。

これら巨大古墳は戸河内中学校のグラウンドより大きいものがほとんどです。

表からわかるように全長120mをこえる巨大古墳は、全国で125基もあります。しかし、この数は日本中の16万基の古墳の数からすると、ごくわずかです。

日本全国の古墳にしめる巨大古墳の割合

$$\frac{125 \text{基}}{160000 \text{基}} \times 100 = 0.08\%$$

3人で読み取ろう 左の表から巨大古墳について、どんなことに気づきますか。



参考 もし、日本最大の^{だいせん}大仙古墳をつくるとしたらどのくらいの期間と費用（人をやとうお金も含む）が必要？

作り方	期間	費用
現在の技術・機械やコンピュータを使うと…	2年半	20億円
古墳時代の技術や道具だけを使うと…	15年8か月	796億円



けっこう大変だぞ

（大林組調べ）



大仙古墳

百舌鳥古墳群（もずこふんぐん）
日本最大の大仙古墳を中心とする古墳の集まり（大阪府）